



学校だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yabe/>

令和 5年 8月 28日

9月号

横浜市立矢部小学校
校長 山口 恭史

地域の方々と子どもたちを育む

校長 山口 恭史

例年になく暑い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声もどってきました。まだまだ暑い日が続くことが予想されます。引き続き熱中症に気をつけながら教育活動を進めていきたいと思えます。保護者のみなさまも、毎日の子どもたちの健康管理をよろしくお願いいたします。

水泳学習については、プールの修繕が終了し、今後実施していきます。水泳学習が初めての子や久しぶりの子ばかりですので、丁寧にスモールステップで学習を進めていく予定です。ただ、気温によっては水泳学習も行うことができません。水泳学習の予定が変更になっていくこともあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

さて、矢部小学校の一番の特徴は、地域の方の力をお借りして、強く連携を図りながら教育活動を進めてきたことです。「きずな」と「わかぎ」という組織があり、本校の長所の一つでもあります。平成30年度には、「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受けました。今年度も地域学校協働本部「きずな」は、国際交流、外国語活動、環境・栽培活動、学習支援、図書・読み聞かせ、外遊びのグループで活動しています。また今年度より、スポットボランティアグループも立ち上がり、単発のボランティアを学校から要請をしています。今後も、学校の教育活動にかかわるボランティアの要請を、まずは「きずな」にお願いしようと考えています。子どもたちや学校のために有益になると判断した場合は、積極的に地域の方及び保護者の方のボランティアさんのお力を借りて進めたいと考えていますので、ぜひ多くの方の「きずな」へのボランティア登録をお願いします。活動の内容によっては、本校にお子さんのいない地域の方に限定させていただいている活動もあることをご理解ください。

これからも、地域の方に子どもたちの安全・安心・成長を見守っていただきながら、地域の中の学校として、地域の方とのつながりを大切にして、「自分の道を自分で創っていける子を育てる」矢部小学校の教育を進めていきたいと思えます。